第36号

# 政文研だより

発行・2026.10月

一般社団法人 神奈川政経文化研究会

**会員の皆様へ**

会費の継続については、5月にメールでご案内しております。
日頃のご支援・ご協力に感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

**政治をもっと身近に ～地域の未来を考える～**

物価高や少子高齢化、地域経済の活性化など、私たちの暮らしを取り巻く課題は多岐にわたります。
政治は遠い世界の話ではなく、日々の生活や企業活動、地域の発展にも深く関わっています。
大切なのは、日々のニュースに関心を持ち、さまざまな立場から物事を考えることなのかもしれません。
当研究会では、政治・経済・文化への理解を深め、地域社会の未来について考える機会を
大切にしてまいります。

平塚市の友好都市・伊豆市

## 歴史と風情が息づく 修善寺温泉街を訪ねて

### 歴史と自然が調和する、伊豆の小京都

### 修善寺駅からのアクセス

修善寺駅 → 東海バス「修善寺温泉行き」約7～10分 → 終点「修善寺温泉」下車
徒歩コース：修善寺温泉バス停 → 修禅寺 約3分 → 独鈷の湯 約2分 → 竹林の小径 約5分
散策のみ：約30～40分



訪れた日はあいにくの雨でしたが、雨に濡れた石畳や鮮やかな緑がいっそう美しく、雨がよく似合う素敵な場所でした。
しっとりとした修善寺ならではの風情を感じながら、温泉街をゆっくり散策しました。



#### 修禅寺

修善寺温泉街の中心にたたずむ修禅寺は、弘法大師によって開かれたと伝わる歴史ある寺院です。落ち着いた山門や緑に包まれた境内には、長い年月を重ねてきた静かな趣があり、温泉街の歴史を見守り続けてきた修禅寺を訪ねました。



#### 独鈷の湯

桂川のほとりにある独鈷の湯は、修善寺温泉発祥の象徴です。弘法大師が独鈷杵で川の岩を打ち、温泉を湧き出させたという伝説が残されています。現在は見学のみですが、温泉街の歴史を今に伝える大切な場所として親しまれています。



#### 竹林の小径

桂川沿いに続く竹林の小径は、修善寺を代表する散策スポットです。背の高い竹からこぼれる緑の光が差し込み、風に揺れる竹の音が響きます。周辺の橋や川の景色とともに、修善寺らしい風情をゆっくり楽しめます。

### The Crank
Cafe & Bar Pizzeria




修善寺散策の途中に立ち寄った「The Crank」。
しらすのペペロンチーノは、しらすの旨みとほどよい塩気がパスタによく合い、とても美味しかったです。白ワインも美味しく、ゆったりとした時間を楽しむことができました。



# 一般社団法人 神奈川政経文化研究会　会員の皆様へ

# 令和8年10月号　代表理事メッセージ

会員の皆様へ

拝啓 秋冷の候、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より一般社団法人　神奈川政経文化研究会の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

■ 激動する世界情勢と日本経済の行方

世界情勢は、依然として先行きの見通せない状況が続いております。

長期化するウクライナ情勢、中東におけるイランを巡る緊張、米中間の経済・安全保障を巡る対立など、国際社会は大きな転換期を迎えています。

特にエネルギー問題は、資源の多くを海外に依存する我が国にとって極めて重要な課題です。

原油価格の変動は、燃料費、電力料金、物流費、原材料費など、あらゆる産業に影響を及ぼします。

また、AIや半導体などの先端技術分野では、国家間の競争が激しさを増し、経済安全保障の重要性も高まっています。

こうした時代だからこそ、私たち経営者には、目先の経営だけではなく、世界の動きを見据えた判断力と危機管理能力が求められているのではないでしょうか。

■ 今年の台風・豪雨災害と地域を守る責任

今年も日本各地で台風や集中豪雨による被害が発生しました。

千葉県では、8月から9月にかけての大雨により、住宅の浸水や道路の冠水など、地域生活に影響が生じました。

また、北陸地方においても、石川県、富山県、福井県などで豪雨による被害が発生し、住民生活や地域経済に影響を及ぼしました。

特に、過去にも大きな災害を経験した地域が再び被害に見舞われる現実を、私たちは重く受け止めなければなりません。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、復旧・復興に尽力されている多くの方々に深く敬意を表します。

近年、自然災害への備えは、行政だけの課題ではなく、地域社会全体で取り組むべき重要な問題となっています。

私たち企業経営者も、社員とその家族の安全を守り、事業を継続し、地域の復旧・復興に協力できる体制を整えておかなければなりません。

企業の規模や業種にかかわらず、災害への備えは、地域社会を支える重要な責任の一つです。

「地域を支える企業が元気でなければ、災害からの復旧も、地域社会の再生も進まない。」

私はそのように考えています。

■ 株価6万円時代に、なぜ中小企業は豊かになれないのか

最後に、会員の皆様とぜひ考えたい問題があります。

日経平均株価は6万円台という歴史的な水準に達し、日本の株式市場は大きな注目を集めています。

一部の大企業では好業績が続き、株主への還元や設備投資が進められています。

もちろん、日本企業が成長し、国際競争力を高めていくことは喜ばしいことです。

しかし、その一方で、地域に根差す中小企業の経営環境はどうでしょうか。

原材料費の高騰、エネルギー価格の上昇、人件費の増加、社会保険料の負担、そして深刻な人手不足。

あらゆる経営コストが上昇する中で、適正な価格転嫁ができず、利益を確保することに苦労している企業が少なくありません。

私は、ここに日本経済の大きな課題があると感じています。

「株価が上がっても、中小企業の利益が増えなければ、地域経済は豊かにならない。」

「中小企業が儲けなければ、国民は豊かにはならない。」

この思いは、今も変わりません。

企業が利益を確保できなければ、社員の給与を上げることも、新たな人材を採用することも、設備投資を行うことも難しくなります。

価格転嫁は、単なる値上げの問題ではありません。

社員の生活を守り、次の世代へ事業をつなぎ、地域経済を維持するために必要な経営課題なのです。

企業規模や取引上の立場にかかわらず、適正な価格で取引できる環境を整え、企業が生み出した利益を働く人々や地域社会へ還元できる仕組みが必要だと考えています。

■ 会員の皆様の「現場の声」を聞かせてください

そこで、今回は会員の皆様にお願いがあります。

ぜひ、皆様が日々の経営の中で直面している困りごとや、納得できない取引慣行、制度上の問題などを、私に聞かせていただきたいと思います。

価格転嫁が認められない。

人件費が上がっても販売価格や取引価格に反映できない。

社会保険料の負担が重い。

人材を採用したくてもできない。

行政の制度が現場の実態に合っていない。

どのような問題でも結構です。

私たちの研究会は、単に政治や経済について学ぶだけの場ではありません。

地域で懸命に働く経営者の声を集め、課題を共有し、必要であれば行政や関係機関へ実情を伝えていくことも、大切な役割の一つだと考えています。

一人の経営者の声は小さくても、同じ課題を抱える仲間が集まれば、社会に問題を提起する力になります。

ぜひ皆様の率直な声をお寄せください。

■ 最後に

経営者とは、どんな時代であっても、最後まで責任を背負い、決断し、行動し続ける存在です。

厳しい時代ではありますが、私たちは決して一人ではありません。

共に学び、共に考え、共に行動する。

一般社団法人　神奈川政経文化研究会は、これからも湘南の地から、地域経済と日本の未来を考える活動を続けてまいります。

会員の皆様のますますのご健勝と、事業のご発展を心よりお祈り申し上げます。



敬具

令和8年10月吉日

一般社団法人 神奈川政経文化研究会

代表理事　今村 佳広